

地域づくり協議会だより

輝け！ にしなり

発行者：西成連区地域づくり協議会 令和3年10月1日

一宮市小赤見字郷浦53(西成出張所内) ☎ 28-9002

◆より良い協議会を目指し『再編組織(案)』を協議◆

『地域づくり協議会と町会長協議会、公民館などの西成を支えている団体との連携を図り、住みよい魅力ある西成をつくる』ことを目的に、令和3年度西成連区地域づくり協議会役員会議が、8月25日(水)午後7時より西成公民館中会議室で開催されました。

会議には大塚秀光会長始め「町会長協議会」「民生児童委員協議会」「公民館」「老人クラブ連合会」「児童育成協議会」「地域づくり協議会」の役員等26名が出席し、かねてより『専門委員会』で協議を重ねてきました組織運営の活性化を図るため、下図の再編組織(案)を議題に意見交換しました。



開会に当たり大塚会長は「この協議会がこれからも発展していくためにはどのような運営方法が良いのか、皆さんのご意見をお聞きしたい。」とあいさつ。

前会長の加藤正夫氏が議長となり、再編組織(案)を基に活発な意見交換が行われ、「役員会や各部会の人員配置についての問題」や「役員会の回数を増やして諸団体との連携を深めたらどうか」等の意見が出され、また諸団体でも「人員配置に苦勞している状況であること」や「一年毎に役員が交代することによる事務引き継ぎの問題」等の意見が出されました。

協議の結果、この案を持ち帰りそれぞれの団体で意見調整をすること、またこのような会議を重ねることが必要であることを確認し、午後8時に会議終了となりました。

◆学校紹介 西成中学校の活動

「コロナ禍でも地域とともにある学校をめざして」◆

西成中学校では、自主的、実践的な活動の充実を図るために、学級・学年活動、学年・学校行事、体験活動、ボランティア活動、生徒会・委員会活動に力を注いでいます。そして、集団や社会との関わりを踏まえた人間関係づくりの中で豊かな心、思いやりの心の育成を図っています。しかし、新型コロナウイルスが流行した昨年度以降、生徒たちの感染予防が最優先し、活動の一部制限をしています。

このような中でも、地域に開かれた学校活動は生徒の心の育成にとって必要不可欠と考え、各種学校行事を工夫して実施しています。例えば、授業参観や体育祭、合唱コンクールでは参観者の人数制限を設けたり、校内オンラインを活用したりと保護者が参観できるように感染症対策を講じて進めています。

生徒たちも最初は今の生活に戸惑っていましたが、次第に「今何ができるのか」を考えるようになりました。

あいさつ運動では、あいさつプラカードを持って実施しています。また、体育祭では、ソーシャルディスタンスを保った応援合戦のやり方について、生徒が自分たちで話し合い、工夫して創り上げる活動をしています。

2学期は2年生が一宮東特別支援学校との交流行事を計画しています。感染症対策も踏まえ、どんなことを行ったら楽しんでもらえるのかを生徒たちが考え、グループごとに企画を練って準備していく予定です。

地域との交流を通して、生徒たちが豊かな心、思いやりの心を育てていくことを期待しています。

(一宮市立西成中学校教頭 森 一寿)



小学校を訪問してのあいさつ運動の様子



感染症対策を講じた応援合戦の様子

◆新企画「ザ！フォト in にしなり」写真コンテスト◆

地域振興部会では、「西成連区内にお住まいの方の作品」「他地域にお住まいの方は西成連区内の作品」を対象として写真コンテストを開催いたします。(いずれもジャンルは問いません。)応募期間は、11月1日(月)から30日(火)までで、応募方法については事務局(西成出張所)にある「募集要項」をご覧ください。

◆QRコードで簡単に アクセスできます◆

ケータイで右の絵柄を写して、西成連区地域づくり協議会のホームページにアクセスできます。多数の方のご利用をお待ちしております。



◆手洗い、うがい、咳エチケット を心がけましょう!◆

